

評価委員から提出された確認事項

資料 1

(注) 網掛けは、第2回会議未了分である。

1 財務諸表に関するもの (資料2 関係)

頁	大項目	小項目		意見・質問
3				【損益計算書】 ・運営費負担金、運営費交付金、補助金等とは、どういったものか。また各項目の違いは何か。 ・当該年度に結局のところ、病院機構へは市予算からいくら支出したのか。
6				【行政サービス実施コスト計算書】 ・行政サービス、実施コストとは、どういった意味か。 ・市予算から支出したという意味か。

2 業務実績報告書に関するもの (資料3 関係)

頁	大項目	小項目		意見・質問
11	第1-1 市立病院として担うべき医療	(1) 広島市民病院	ア 救急医療の提供	【救急患者の受入体制の強化】 看護師の増員の取り組みがなされているが、実際年度途中で増員が実現できたのか。何名くらい増員できたか。
18	第1-1 市立病院として担うべき医療	(2) 安佐市民病院	ア 救急医療の提供	
19	第1-1 市立病院として担うべき医療	(2) 安佐市民病院	イ がん診療機能の充実	【がん診療機能の強化】 CTシミュレーターの更新により、がん診療機能強化が図られているが、検査件数の増加は前年度比で観るといくらかいかな?
23	第1-1 市立病院として担うべき医療	(2) 安佐市民病院	コ 医療機器の計画的な整備・更新	
22	第1-1 市立病院として担うべき医療	(2) 安佐市民病院	キ 専門外来の実施	この実施件数が年度計画をどの程度上回るのかわかりかねる。実施件数の年度比較等があれば、よくわかると思う。
24	第1-1 市立病院として担うべき医療	(3) 舟入市民病院	ア 小児救急医療の提供	自己評価を「4」とした具体的な事項(本年度の実績が計画を上回った事項)の幾つかの説明は必要ないか。
33	第1-1 市立病院として担うべき医療	(4) リハビリテーション病院・自立訓練施設	エ 自立訓練施設の利用促進	【施設利用者の拡大】 「作業に着手した」という表現があるが、この「作業」によって目標値が達成できるとするのか。
34	第1-1 市立病院として担うべき医療	(4) リハビリテーション病院・自立訓練施設	カ リハビリテーション医療従事者の市立病院間の交流の促進	【人事交流の推進】 年度計画の一覧があれば、表示できないか(資料としてでも)

(注) 網掛けは、第2回会議未了分である。

頁	大項目	小項目		意見・質問
40	第1-2 医療の質の向上	(2) 医療の標準化の 推進		【クリニカルパスの点検、作成】 本年度はクリニカルパスの適用率は低かったが、来年度の目標値の達成は問題ないと考えられるか。
41	第1-2 医療の質の向上	(3) チーム医療の推 進		P55の「イ 患者・家族のニーズの把握と病院運営への反映」では、多くの事項についてアンケート調査が実施されているようであるが、このアンケート調査の中にチーム医療についての調査項目があるか。あればその結果はどうであったか。
60	第1-4 地域の医療機関等との連携	(1) 地域の医療機関との役割分担と連携	ア 病院の役割分担に基づく紹介、逆紹介の促進等	【各地区医師会との連携】 医師会名や会議体等を具体的に説明してもらいたい。
61	第1-4 地域の医療機関等との連携	(1) 地域の医療機関との役割分担と連携	イ 地域連携クリニカルパスの運用拡大	安佐市民病院の運用件数が下がっているが何か理由があるのか。
68	第1-5 市立病院間の連携の強化	(3) 地域の医療機関との診療情報の共有化の検討		【地域医療連携システムを活用した情報の共有化の検討】 「地域医療連携システム」と「ひろしま医療情報ネットワーク」との関係や、「広域都市圏構想」における本システムの具体的な活用について説明してもらいたい。
77	第2-2 人材の確保、育成	(1) 病院を取り巻く環境変化に迅速、柔軟に対応した人材の確保	オ 看護師確保の推進	自己評価が「4」になっているが、年次計画があつて順調に実施しているという説明であれば分かりやすい。病院毎の採用予定があれば、上回っていると確認できると思うがどうか。
84	第2-3 弾力的な予算の執行、組織の見直し	(1) 弾力的な予算執行		【弾力的な予算執行】 各病院長への適切な権限配分とあるが、実際、どのくらいの予算を裁量で動かしているのだろうか。
90	第2-4 意欲的に働くことのできる、働きやすい職場環境づくり	(3) ワーク・ライフ・バランスの推進	ウ メンタルヘルス対策の実施	【ストレスチェックの実施】 ハイリスク該当者のうち、どのくらいが相談を受けているのか。
92	第3 経営の安定化の推進	(1) 中期目標期間中の経常収支の黒字の維持		赤字の理由として、設備投資を積極的にやったなどの関連性を説明できれば、誰もが理解できるのではないか。
92	第3 経営の安定化の推進	(1) 中期目標期間中の経常収支の黒字の維持		実績が98.9%なので評価「2」と説明された。参考資料3のp2(表2)病院別内訳では黒字化は進んでいるようにみえる。先行投資等に理由があるのであれば、説明を加えて評価は「3」でいいのではないか。
93	第3 経営の安定化の推進	(3) 経費の削減		自己評価を「4」としたことを示す纏めの記述があると、赤字になった決算があつても、本項目の評価を納得しやすい。